

重点目標
やさしい
心とことばで



しょう らい 松籟



富士市立元吉原小学校

学校だより

令和7年8月28日発行

8・9月の生活目標：「休み時間もくふうして すがそう」～自分のために みんなのために～

夏休みが終わりました

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に響いてほっとしています。子どもたちにとって夏休みの37日間は学校を離れて過ごす、貴重な日々だったと思います。支えてくださったご家族の皆様ありがとうございました。楽しかった人も特別なことがなかった人も、必ず小さな発見や、小さな喜びがあったはずです。そんな視点でこれから学校生活も、みんなで力を合わせて小さな一つずつ、一歩ずつの積み重ねを大切に活動していきたいと思います。

暦の上では秋になりましたが、まだまだ厳しい暑さが続いている毎日です。熱中症に気を付けながら学校生活を送っていきます。夏休み前と同じように、引き続き水筒やタオル、帽子の準備などをよろしくお願ひいたします。



古屋先生

8月25日からおもに1年生の授業を担当していただいています。明るく元気な先生で、子どもたちが困っているとすぐに駆け寄って話を聞いてくれています。元吉原幼稚園、元吉原小学校のご出身なので、子どもたちの大先輩でもあります。お住まいも元吉原学区です。どうぞよろしくお願ひいたします。



防災教育

夏休み前に、「ふじのくに防災士」の長橋さんから防災についての講話をしていただきました。登下校中や自宅で留守番をしているときなど、大きな地震があった場合、どのように自分の命を守るのか考えてほしいと思い、防災教育の第1回目として実施しました。

8月8日のマチコミでおしらせましたが、夏休みに各ご家庭でチェックリストを参考にしながら、「登下校中に大きな地震が発生したらどこへどのように避難するか」「家庭内で地震や災害が起きた場合、どのように行動するか」話し合っていただけたでしょうか。8月29日金曜日に、授業の中でこれらのことについて学習をします。7月30日のカムチャツカ半島の地震による津波警報が発令された際、どのように行動したらよいのか迷う部分がありました。日頃から、地震や津波について備えているつもりであっても、「万全」ということは難しいものだということを実感しました。この機会に、あらためて子どもたちだけすごしている場面での防災対策を念入りに確認していきたいと思います。

卒業式に向けて

令和8年3月19日に卒業証書授与式が行われます。12歳の子どもたちにとっては、人生の半分を過ごした小学校を締めくくる大切な式です。まだ半年以上先のことではありますが、「自分も周りの人もみんなにとって心に残る卒業式にしよう」と8月26日の朝、6年生のみなさんにお話をしました。そのような大切な式に向けて、ご家庭で当日の服装をどのようにするか検討している方もいらっしゃると思います。服装選びの際は、緊張感が高い中でも安心して過ごせること、トイレや移動などに困らないような準備をすること、服装選びで疎外感を感じたり悲しい思いをしたりする



人が出ないようにすることなどに注意していただき、ご家庭でよく話し合って決めていただきたいと思っています。卒業生とご家族、ご親族などみなさんの心に残る卒業式になるよう、これから先の学校生活も一つ一つの活動を大切にしながら過ごしていきます。何かご心配なことがございましたら学校までご連絡ください。